

私の留学体験記

広島県立呉三津田高等学校 2年 鍵本真帆（かぎもとまほ）

留学期間 令和6年3月18日 ~ 令和6年3月29日（12日間）

留学先 Corona del Mar High School (Newport Beach, America California)

私が、留学したのは12日間という短い期間でした。ですが、この短い期間にアメリカと日本の文化の違いと共通点に触れることや、自分自身の将来やりたいことについて見つめ直すことができました。

まず私が驚いたのは、アメリカの高校は大学のようにとても自由だということです。アメリカでは16歳から運転できます。そのため、昼休憩になると、ランチを買いに近くのスーパーに出かけたり、放課後にはビーチに遊びに行ったり、日本との大きな違いを感じました。

また、街にはタコスの店や日系のスーパー、スペイン料理店など、いろいろな国の店がありました。アメリカには、多民族国家ならではの多様な食文化があることがわかりました。

次に、私は日本の英語の授業で学ぶ英語と実際の英語は大きな違いがあると感じました。特にネイティブ同士の会話はスピードがとても速い上に、たくさんのスラングを使うので理解するのは大変でした。例えば「fire」という単語は直訳すると「火」ですが、若者の間では「かっこいい」「良い」という意味で使われていたり、「like」という言葉は「well」という言葉の代わりに口癖のように使われていたりすることがわかりました。日本に方言や若者独特の言い回しがあるのと同様に、アメリカにも同じようなものがあることに気づき、言語の面白さに触れることができました。言語や国が違っても、ウインドーショッピング、カフェ巡り、歌うこと、ダンスなど、共通な趣味があることに感動しました。

そして、留学先のアメリカの生徒たちと将来何になりたいかについて話し合うことができました。彼女たちが、「〇〇だから〇〇したい、〇〇になりたい」と力強く語る姿を見て、自分のやりたいことに素直で、それを恥じることなく人に伝えることのできる彼女たちはすごいと思いましたし、刺激を受けました。

また、留学中にマツダの北米拠点の会社を訪問しました。そこでの研修を通して、違う国籍の人と一緒に働くことの面白さに触れ、将来海外で働くことも視野に入れるようになりました。粘り強く挑戦し続ける社員の方々の姿を見て、現実ばかり見て自分の限界を決めてしまってはダメだと心から思うようになりました。